

小説・詩歌編

教科書 p. 108  
～  
120

組  
番

名前

/50

一 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) 理由を詰問する。 [ ] 各1点[8]
- (2) 机の上を整頓する。 [ ]
- (3) 踊りの稽古。 [ ]
- (4) 赤ちゃんの機嫌が直る。 [ ]
- (5) 些細なことに拘泥する。 [ ]
- (6) 血潮がたぎる。 [ ]
- (7) その刹那に全て分かる。 [ ]
- (8) 威張った態度をとる。 [ ]

五 次の各組の傍線部の片仮名を、意味に注意して漢字に直せ。

- (1) 空港にツク。 [ ] 各2点[8]
- 天をツク大木。 [ ]
- (2) 頭がカタい。 [ ]
- カタい守り。 [ ]

六 傍線部の漢字と同じ読みを含むものを、後から一つ選べ。

- (1) この道が正しいと断言する。 [ ] 各2点[2]

二 傍線部の片仮名を漢字に直せ。

- (1) キョウフ心をおおる。 [ ] 各1点[8]
- (2) 先生のカイコ録。 [ ]
- (3) ビショウを浮かべる。 [ ]
- (4) コウシ戸を開ける。 [ ]
- (5) リンリ的な問題がある。 [ ]
- (6) 着物のスソを上げる。 [ ]
- (7) 強いシヨウドウを感じる。 [ ]
- (8) ボウシをかぶる。 [ ]

- ア 遺言 イ 言語道断
- ウ 無言 エ 巧言令色

七 次の熟語と後の【語群】の片仮名を組み合わせて四字熟語を作り、漢字に直せ。

- (1) 挙止 [ ] 各2点[6]
- (2) 薄志 [ ]
- (3) 一網 [ ]

【語群】

- キヨシユ ダジン フシン
- ドウサ タバイ ジャッコウ

三 傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。

- (1) 目にフレル。 [ ] 各2点[8]
- (2) 氷の上でスベル。 [ ]
- (3) 窮地にオチイル。 [ ]
- (4) 手紙を祖母にアテル。 [ ]

八 傍線部の言葉の意味を、後からそれぞれ一つずつ選べ。

- (1) きまりが悪い思いをする。 [ ] 各1点[2]
- ア 正直でない。 [ ]
- イ いたたまれない。 [ ]
- ウ 申し訳ない。 [ ]
- エ 罪悪感を感じる。 [ ]

四 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) ①承諾 [ ] 各1点[8]
- (2) ①依頼 [ ]
- (3) ①摩擦 [ ]
- (4) ①沈黙 [ ]

- (2) 我知らず涙が出る。 [ ]
- ア つい。 [ ]
- イ わざと。 [ ]
- ウ ついに。 [ ]
- エ いつもどおり。 [ ]